

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 語彙スキル | プレゼンやディベートの学習

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

プレゼンやディベートの学習

プレゼンテーションやディベートといった発表や討論を行う学習活動が盛んだ。

その背景にあるのは、現実社会において相手を説得する力や、討論を行う力が必要であると認識されるようになってきたからである。

社会人として働く場合、こうした力はコミュニケーション力とも呼ばれ、公的な様々な場面において不可欠である。

社会人の第一関門とも言える就職活動における面接（公的活動）で、まずはこうした力を評価されることになる。

さて、一方で、私たちが日常生活の中で発表や討論を行う機会はどのくらいあるだろうか。

たとえば、スピーチはその機会のひとつでもあるが、日常生活でスピーチすることは、せいぜい結婚披露宴ぐらいだろう。

おなじように、相手を説得しようとプレゼンテーションを始めたり、討論によって相手を打ち負かしたりすることも、なくはないが一般的ではない。

つまり、プレゼンもディベートも、すべて公的な場面での話し合い活動であり、私的な場面での話し合い活動とは性質が異なる。

それでは、どのようにして、プレゼンやディベートといったコミュニケーション力を高めるのか。

よく使われるのが「ロールプレイ」だ。

ロールプレイとは、ある課題に対して、参加者に役割を与えて模擬的なプレゼンやディベートをさせるものだ。

参加者に「演じる体験」をさせることで、自分の言語活動を見つめ直す機会を持たせることができる。

日常の中で起こりそうな場面で、かつ自然には遭遇しにくい場面を演じることで、参加者の言語活動の体験を補充し、さらにその言語活動を参加者同士（自分自身も含め）の振り返りにより「評価」することで学びが得られる。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.